

令和7年度 愛川高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育の専門家としての自覚、意識を高め、高い倫理感を持って行動する。	不祥事防止会議やTeamsによる研修等により、教職員に求められる倫理観の保持・向上に取り組み、信用失墜行為等を行うことなく目標を達成することができた。
職場のハラスメントの防止	あらゆる差別、偏見及びハラスメントにつながる言動を行わず、すべての人の人権と多様性を尊重する。	職員啓発・点検資料を用いた研修や時宜を得た声かけなどにより、職員一人ひとりが、ハラスメントについて正しい知識を持ち、能力を十分に発揮し、いきいきと働くことができる良好な職場環境を形成し、目標を達成することができた。
生徒に対するいじめ、セクハラ行為の防止	生徒との適切な距離感を持った指導・対応を徹底し、指導の際は複数の教員で対応することを基本とする。	相談・指導に当たって、特定の職員が指導するのではなく、複数の職員が多角的に行うことでより効果的な指導・助言につながることから複数での対応を徹底し、目標を達成することができた。
体罰・不適切な指導の防止	生徒に対する体罰や不適切な指導、行き過ぎた指導、暴言を行わない。	指導上の困難があったとしても、決して体罰や大きな声、高圧的な指導を行わず、毅然とした指導に徹することで絶対に体罰は許されないという環境を維持し、目標を達成することができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	業務マニュアル等をしっかりと読み、誤りのない対応ができるよう準備するとともに、気になったことは速やかに報告・相談する体制を維持する。	マニュアルをしっかりと読み、業務手順やチェック体制を確認するとともに、細心の注意を払って業務に当たり、誤りのない対応ができた。また、気になったことや不安なことは速やかに共有する体制を維持し、目標を達成することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策の徹底	個人情報をルールに基づいて適切に収集、管理し、紛失、漏えい防止に取り組む。	職員啓発・点検資料を用いた研修などにより、職員一人ひとりが日常的に自分の行動を確認する習慣づけを奨励し、個人情報を取り扱う際の基本的なルールを守ることができた。
業務執行体制の確保等の徹底	業務に関する情報を適切に共有し、人間関係が良好で互いに意見を言いやすいなど、働きやすい職場環境を構築する。	人には誰でも思い込みがあって、このことを自覚することの大切さについて時宜を得た声かけを行った。また、思い込みから抜け出しやすくするために情報を共有することの大切さを徹底し、事故・不祥事を防止した。
財務事務等の適正執行	私費会計規準に基づき、公費に準じた適正な会計処理を行う。	私費会計規準に基づき、事務処理の手順に従い、証拠書類を確実に残す体制を整えた。一方、行動計画を達成できなかったところもあった。今後は返金事務の進捗管理を強化し、計画通りに業務を遂行できる体制を構築する必要がある。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

前年度に引き続き、グループの持ち回りで毎月の不祥事防止会議を実施することで、事故・不祥事を自分事として捉える体制づくりを根付かせることができた。

法令遵守意識の向上、ハラスメント防止、生徒へのわいせつ・セクハラ行為防止、体罰・不適切指導防止、入学者選抜や成績処理等の事故防止、個人情報管理・情報セキュリティ対策、業務執行体制の確保等において目標を達成することができた。

しかし、財務事務等の適正執行においては返金事務の進捗管理が課題として残り、行動計画の達成に至らない部分があった。

次年度は、引き続き各項目の維持・向上を図るとともに、返金事務の管理体制を強化し、より確実な不祥事防止を目指して取り組む。